

会 議 録

会議の名称		令和4年度第1回守谷市地域包括支援センター運営協議会		
開催日時		令和4年4月25日（月） 開会：午後1時30分 閉会：午後3時00分		
開催場所		守谷市役所 全員協議会室		
事務局（担当課）		健幸福祉部 健幸長寿課		
出席者	委員	城賀本会長、高橋委員、柏崎委員、岩佐委員、宮原委員、吉沼委員、堀込委員、坂本委員、本台委員、齋藤委員 計10名		
	その他	守谷市南部地域包括支援センター	石塚管理者、南良社会福祉士	計2名
	事務局	守谷市北部地域包括支援センター	吉澤管理者、鎌田主任介護専門員	計2名
事務局	稲葉健幸福祉部長、小林健幸福祉部次長兼健幸長寿課長、市村健幸長寿課課長補佐、宮下係長、山崎係長、介護福祉課澤辺係長、			計6名
公開・非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数 1人
公開不可の場合はその理由				
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 報告事項 (1) 令和3年度守谷市南部地域包括支援センター実績報告について (2) 令和3年度守谷市北部地域包括支援センター実績報告について (3) 令和4年度健幸長寿課の取組概要について 4 協議事項 (1) 令和4年度守谷市南部地域包括支援センター事業計画について (2) 令和4年度守谷市北部地域包括支援センター事業計画について 5 その他 6 閉会			

確 定 年 月 日	会 議 録 署 名
令和 4年 5月 16日	城賀本 満登

審 議 経 過

日 時 令和4年4月25日(月)午後1時30分から3時まで
場 所 全員協議会室
出席者 委 員 城賀本会長、高橋委員、柏崎委員、岩佐委員、宮原委員、
吉沼委員、堀込委員、坂本委員、本台委員、齋藤委員 計10名
事務局 稲葉健幸福祉部長、小林健幸福祉部次長兼健幸長寿課長、
市村健幸長寿課課長補佐、宮下係長、山崎係長、介護福祉課澤辺係長
計 6

名

包括支援センター

北部地域包括支援センター 吉澤管理者、鎌田主任介護支援専門員

南部地域包括支援センター 石塚管理者、南良社会福祉士 計 4

名

傍聴者 1名

1 開会

2 あいさつ

3 報告事項

(1) 令和3年度守谷市南部地域包括支援センター実績報告について

(2) 令和3年度守谷市北部地域包括支援センター実績報告について

令和3年度に両地域包括支援センターで実施した事業の内容、1年を振り返っての課題について説明した。

【主な意見等】

事務局： 南部地域包括支援センターの実績で、地域ケア個別会議の困難事例の実績が6件ですが、どんな事例がありましたか。

南 部： 介護認定を受けている2人暮らしの高齢者で、認知症で理解力が伴わずサービスに結びつかなかった方のケースで、会議の中で処遇を検討し、まず医療につなげ、サービスにつなげていったという事例がありました。ケアマネジャーひとりだけでは解決が難しい事例について、医療機関、事業所と連携して会議を行い、サービス等につなげて行きたいと考えております。

委 員： 南北の包括でともに相談件数等がありますが、人口からすると南部の方が多いと思います。今後、事務局として委託をもう1箇所増やすことを考えていますか。

事務局： 3箇所が理想ですが、直近では2箇所、中長期的には3箇所と考えています。

会 長： 地理的に一緒だったら2箇所で人数を増やせばいいですか、地理的に不均衡がありますか。

事務局： みずき野の高齢化率は人口の約半分の46%ですが、市内全体としての母数は守谷地区が多く、みずき野と併せると南部の方が圧倒的に多い状態です。北部も久保ヶ丘、御所ヶ丘の高齢化率が進んでおり、均等にできるように圏域にするためには、3圏域に分けた方がいいと考えます。

会 長： わかりました。では次の案件に移ります。

(3) 令和4年度健幸長寿課の取組概要について

令和4年度の健幸長寿課の地域包括支援センターとの連携部分の取り組みについて説明した。

【主な意見等】

事務局： 権利擁護業務について他の自治体の取り組みなどを教えてください。
(権利擁護関係者である委員に)

委 員： 近隣の市で地域と司法書士や弁護士といった士業との成年後見人の部分での連携を行っていると聞いております。

事務局： ありがとうございます。介護支援専門員の委員さんに伺います。グループホームの認知症の利用者のご家族の支援で取り組んでいることなどを教えてください。

委 員： 私どものグループホームでは、2年前まで独自でオレンジカフェを行っていたのですが、ここ数年活動ができていない状況です。お困りごとの相談があった際は、その都度相談をしております。

委 員： マンションに住む認知症の高齢者のロックが解除できないなどの対応に管理人の方からも支援が必要だといった話を聞くのですが、現状で地域包括や行政にそういった相談があるのか教えていただきたい。

北 部： マンションにお住まいの認知症の方の対応で、職員が関わっているところはありますが、管理人の方と鍵の施錠等の連携までは出来かねております。年齢に伴う理解力の低さに伴って、そういった対応の必要性も出てくると思います。

南 部： 民生委員から高層マンションにお住まいの方の連絡が取れないといったご報告をいただき、訪問を行っています。今後よく考えていかなければいけないことだと思っています。

事務局： オレンジカフェについて高層マンションでの開催のニーズも視野に入れて考えていきたいと思えます。

以前、直営包括を行っていた時に、マンションにお住まいの高齢者宅にサービス事業所の方が訪問した際、倒れていたのに鍵が開かず対応で

きないことがありました。幸い、すぐにご家族と連絡がとれたため、大事には至りませんでした。他人と関わりたくなくマンションに居住するという一部の高齢者の声もありますが、ケアの問題になるとなかなか難しいです。

会 長： ありがとうございます。高齢者を取り巻く地域課題について具体的にはどういったものがありますか。

事務局： 3月の運協の際に、高齢者のみの世帯を地域でどのように支えていくか、高齢者をどのように外に出していくかということについて皆さんの意見をいただいたところです。

会 長： ありがとうございます。他にありますか。

委 員： 先日、認知症の方で行方不明になって無事に見つかった事例がありました。そういった情報は市や包括には入ってきますか。家族からの相談は多いのでしょうか。

北 部： いつも帰ってくる時間に帰宅されないためご家族から連絡をいただきました。市と連携して警察に連絡し、結果的には、埼玉県で警察に保護をしていただきました。

南 部： 警察の方からご連絡をいただき、そこから包括で介入したという事例があります。今は包括という言葉が認知されてきているのか、認知症についてどうしたらいいかといった相談は承っています。

会 長： ありがとうございます。次に協議事項の議題に入らせていただきます。

4 協議事項

(1) 令和4年度守谷市南部地域包括支援センター事業計画について

(2) 令和4年度守谷市北部地域包括支援センター事業計画について

両地域包括支援センターより事業計画の概要、取組みとして権利擁護業務の成年後見制度・高齢者虐待に関する研修会や包括的・継続的ケアマネジメント支援業務として専門職向けの研修会を予定していること、認知症推進員としての活動、圏域におけるネットワークの構築、強化を行っていく中で地域の医療機関や各関係事業所との連携や協力体制の構築に努めること等を報告した。

【主な意見等】

委 員： 今年は介護予防ケアマネジメントを委託する事業所数が増えたのでしょうか。

北部/南部： 委託先は市外の事業所が増えています。

会 長： 北部包括は、人数を増やすことができないのでしょうか。

事務局： 現在の委託契約は今年度で終わりです。来年度については、北部の高齢者人口を踏まえて具体的に調整してまいります。詳細については、運営協議会でご承認をいただくこととなりますので、追ってご説明させて

いただきます。

会 長： ありがとうございます。他にありますか。

事務局： 昨年度の認知症地域支援推進員の活動として3月12日（土）にまちづくり協議会の大野地区で認知症の高齢者の「声かけ模擬訓練」を実施いたしました。今年度も両包括と協力しながら実施します。4月25日号の広報で特集を組んでいます。

会 長： ありがとうございます。その他の議題について事務局からお願いします。

5 その他

- (1) 地域密着型サービス事業所「デイサービスうらら」の指定更新について
地域密着型サービス事業所「デイサービスうらら」の指定更新について介護福祉課から説明しご意見をいただいた。

【主な意見等】

委 員： 家族や地域社会との交流を積極的に行っている事業所ということですが、具体的にどういうことでしょうか。

事務局： ヒノキのお風呂でゆっくりくつろぐ、体操の他編み物や手芸等手先を使うようなものづくりを中心に活動を行っているそうです。地域社会との交流の仕方については、把握できておらず申し訳ありません。

会 長： では、わかったらまたお知らせください。この件はこれで終わりにします。

- (2) 次回の会議日程について

令和4年7月29日（金）午後1時30分から開催予定。

6 閉会